

Quest®



KACE®システム管理アプリケーション10.1

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム管理アプライアンス10.1リリースノート.....	3
KACEシステム管理アプライアンス10.1について.....	3
新機能と拡張機能.....	3
サービスデスク機能.....	3
エンドポイント通信機能.....	4
インフラストラクチャ機能.....	4
KACE GO モバイルアプリ機能.....	4
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	8
システム要件.....	8
製品ライセンス.....	9
インストール手順.....	9
更新の準備.....	9
アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート.....	10
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	10
アップデート後のタスク.....	11
正常に完了していることの確認.....	11
セキュリティ設定の確認.....	12
追加のリソース.....	12
グローバル化.....	13
当社について.....	13
テクニカルサポートのリソース.....	13
法的情報.....	14

Quest® KACE®システム管理アプライアンス10.1リリースノート

このドキュメントは、KACE システム管理アプライアンス (SMA) バージョン 10.1 に関する情報が記載されています。

KACEシステム管理アプライアンス10.1について

KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、仮想アプライアンスです。KACE SMAシリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/products/kace-systems-management-appliance/>をご覧ください。このリリースには、多くの新機能が搭載されており、問題が修正され、セキュリティが強化されています。



注: このドキュメントは、このリリース向けに翻訳された唯一のドキュメントです。管理者ガイドや製品内のヘルプなど、その他のガイドは現時点ではローカライズされていません。この製品リリースには、バージョン 10.0 が含まれています。

新機能と拡張機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

- サービスデスク機能
- エンドポイント通信機能
- インフラストラクチャ機能
- KACE GO モバイルアプリ機能

サービスデスク機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のサービスデスク機能を備えています。

- ユーザーがサービスデスクキューに添付ファイルを追加できないようにする機能：このリリースから、アプライアンス管理者は、チケット添付ファイルの制限事項を適宜指定できるようになりました。これらの制限は、キューの詳細 ページで設定できます。

エンドポイント通信機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のエンドポイント通信機能と拡張機能を備えています。

- プラットフォームのサポート：サポートされるプラットフォームの既存のセットに、次のオペレーティングシステムが追加されています。
 - エージェント管理対象デバイス：Mac OS X® 10.15、Linux Red Hat® Linux 8、Windows® 10 (Redstone 7) Fall 2019 update、Windows Server Fall 2019 Update、および Windows 10 IoT Enterprise。
 - エージェント不要の管理：Mac OS X 10.15、Linux Red Hat Linux 8、Windows 10 (Redstone 7) Fall 2019 update、Windows Server Fall 2019 Update、Windows 10 IoT Enterprise、および Fedora® 30。

詳細については、KACE SMA の『仮想アプライアンスの技術仕様』を参照してください。

- パッチ検出の改善。パッチ検出速度を最適化するために、アプライアンスは各パッチの Windows 検出ファイルを個別にダウンロードするのではなく、ローカルで圧縮 / 解凍するようになりました。

インフラストラクチャ機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のインフラストラクチャ機能と拡張機能を備えています。

- アップグレード関連情報が関連ページに追加されました。アップグレードバンドルのダウンロード後、システム管理コンソールのアプライアンスの更新ページには、アップグレードの簡単な説明が表示されるようになり、パッケージの内容を説明しています。さらに、重要なアップグレードが利用可能になると、ダッシュボードとリストページに警告が追加されます。
- 資産ステータスがデバイスページに表示されます。管理者コンソールのデバイスリストページには、資産ステータス列がデフォルトで表示されるようになりました。したがって、リストされた各デバイスのステータスをすばやく確認できます。

KACE GO モバイルアプリ機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下の KACE GO 機能と拡張機能を備えています。

- バーコードスキャンの改善：このリリースから、バーコードのスキャン時に、画面の右下隅にあるアイコンをタップして、デバイスのフラッシュライトをオンにできるようになりました。バーコードが検出されると、デバイスが振動します。
- Security Assertion Markup Language (SAML) シングルサインオンのサポート。SAML は、ID とサービスプロバイダの間でセキュリティトークンを渡す XML ベースのプロトコルです。アプライアンスで SAML が有効化され、設定されており、さらに ID プロバイダ (IDP) にログインしている場合、KACE SMA ユーザー資格情報を入力しなくても KACE GO にログインできます。アプライアンスで SAML を設定する方法の詳細については、KACE SMA の『管理者ガイド』を参照してください。

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
ラベルが多い場合、ラベル管理リストページのパフォーマンスが低下する可能性があります。	K1-20809
ユーザーが Number of Records Analyzed (分析対象のレコードの数) フィールドを含めて作成したウィザードレポートには、重複行が含まれている可能性があります。	K1-20778
KACE パッチを適用すると、Apple Software Update の設定が KACE をポイントしたままになり、ソフトウェアの更新を手動で実行できなくなる可能性があります。新しい 10.1 エージェントは、パッチの実行でこれが検出された場合、設定をリセットします。	K1-20774
レポート : Computer List grouped by Operating System (オペレーティングシステム別にグループ化されたコンピュータリスト) では、重複行が表示されました。	K1-20772
OS が PID をリサイクルするというまれな環境で、SQL Server プロセスを、エージェントが終了すべきではないプロセスのリストに追加すると、エージェントはそれを SQL Server プロセスの親であると判断していました。	K1-20771
アプライアンスに古いエージェントビルドのデータがあった場合、Computer with agent out of compliance report (エージェントのコンプライアンス違反レポートを記録しているコンピュータ) で、誤検出が発生する可能性があります。	K1-20770
パッチ Smart Label で 編集 をクリックすると、誤ったラベルに移動したり、PHP エラーが発生したりする可能性があります。	K1-20769
パッチ未適用デバイスのカウントにより、パッチカタログの読み込みに時間がかかっていました。	K1-20768
ユーザーポータルでは、ローカルユーザーのマシングドロップダウンメニューに表示されないことがありました。	K1-20767
サービスデスク : CC チケットユーザーは、CC リストの最初のユーザーとしてリストされていない場合、チケットに返信できませんでした。	K1-20766
複数の組織があり、SAML が有効になっているのはサブセットのみである場合、SAMLを使用してログインできませんでした。	K1-20765
アーカイブの高度な検索では、MySQL 構文エラーが発生しました。	K1-20762
HTML の書式は、プロセスの一部である親チケットおよび子チケットから削除されました。	K1-20761
複数の CPU を搭載したコンピュータの場合、KACE パッチが WMI でパッチを正しく検出しないことがありました。	K1-20759
SSL が有効になっている場合でも、Apache サーバーのステータス情報は一般公開されていました。	K1-20753

解決済みの問題	問題 ID
バージョン 10.0 では、コンピュータのシャーシタイプとして、ノートブックとノート PC の両方が表示される可能性がありました。以前のアプライアンスバージョンの場合と同様に、現在これらはノート PC で統一されています。	K1-20748
所有者のみ E メールトークンを正しく処理しましたが、トークンがコメントから削除されませんでした。	K1-20747
チケットやチケットのコメントを E メールで処理する際に、不要なスペースが追加されることがありました。	K1-20739
SQL Server のパッチがサポートされるようになりました。	K1-20736
10.1 KACE エージェントは、Mac に Munki をデフォルトではインストールしなくなりました。Munki は、KACE パッチが Mac で使用されている場合にのみインストールされます。KACE でパッチを適用するか、独自のプロセスを使用することをお勧めしますが、両方は推奨されません。	K1-20735
チケットテンプレートは、以前のブラウザでは正しく表示されませんでした。	K1-20683
SLA (サービスレベル契約) の期日なしに別の優先度が選択された場合、期日が再設定されませんでした。	K1-20680
一部の組み込みレポートは、KACE パッチに変換されませんでした。	K1-20679
E メールでのチケット作成時に、不要な余白やスペースが追加されることがありました。	K1-20678
KACE GO モバイルアプリ : チケットの作成時に、キューの所有者に通知が送信されませんでした。	K1-20662
処理中にチケットアーカイブやページのエラーが発生した場合、または組織のアーカイブジョブやページジョブが重複していた場合、アーカイブとページが完了しない可能性がありました。	K1-20659
KACE GO : 送信者 フィールドが読み取り専用とマークされていた場合、サービスデスクはチケットの作成を許可しませんでした。	K1-20648
API キーが指定されている場合、Lenovo 保証の検索が失敗しました。この操作を行うために、リクエストフォーマットが 10.1 で修正されています。	K1-20639
NAT (ネットワークアドレス変換) アドレスの使用時に、IP ベースの組織フィルタが想定どおりに機能しないことがありました。	K1-20608
CSV にエクスポートすると、ソフトウェアインベントリにエラーが表示されました。	K1-20595
Web ベースの E メールクライアントを使用してチケットに返信した場合、区切り文字の下にある E メールスレッドがコメント返信に表示されないことがありました。	K1-20592
カスタムチケットルールによる概要の更新を、想定どおりに実行できないことがありました。	K1-20580

解決済みの問題	問題 ID
Patch Schedule Timezone (パッチスケジュールタイムゾーン) がエージェントに設定されていた多くのマシンで、パッチステータスに「スケジュールなし」と「エラー」が表示されました。	K1-20560
HTML コメントエディタは、特殊文字 (コードブロックなど) を含む特定のシナリオを適切に処理しませんでした。	K1-20493
チケットの HTTP URL E メール変数で、80 が使用可能であるにもかかわらず HTTPS が表示されました	K1-20480
7.1 より前のエージェントの場合、概要ページ警告メッセージの誤ったトリガが報告されました。	K1-20411
末尾にスペースがあるファイルを、スクリプトの ファイルのアップロード 機能でアップロードすると、このファイルにアクセスできなくなりました。	K1-20392
より厳密な PCI コンプライアンスのために HTTP レスポンスヘッダーが改善されています。	K1-20112
ユーザーが アクションの選択 ドロップダウンリストからステータスを変更した場合、プロセスの親子チケット が終了しませんでした。	K1-19691
レプリケーションからペイロードを取得する際に Dell アップデートが失敗しました。この問題は 10.1 エージェントで修正されています。	K1-19510
Dell XPS モデルが Dell アップデートでサポートされていませんでした。	K1-19282
期日の変更時に、チケットの SLA 通知が誤って送信される可能性がありました。	K1-19259
デバイス リストページの高度な検索で、OS 名の代わりに 名前 が使用されました。	ESMP-7094
デバイス リストページのコンテンツを 前回のインベントリ で並べ替えて CSV にエクスポートすると、エラーが表示されました。	ESMP-7057
廃止されたパッチラベル警告が、表示されるべきでないときに表示されました。	ESMP-7055
LDAP インポートと SAML を同時に有効にすると、ユーザーが重複することがありました。	ESMP-7054
レポート : Computers with Agents Out of Compliance (エージェントのコンプライアンス違反を記録しているコンピュータ) に、誤ったエージェントバージョンが表示されることがありました。	ESMP-7047
APFS (Apple ファイルシステム) が 「/」 にマウントされていました。この問題は、エージェント不要インベントリを使用して Mac で正しくレポートされるように修正されています。	ESMEC-3600
KACE MDM (Mobile Device Manager) と KACE SMA によって管理される Mac デバイスには、管理者コンソールの Wake on LAN オプションがありませんでした。	ESMEC-3598

解決済みの問題	問題 ID
Oracle Enterprise Linux デバイスをエージェント不要デバイスとして自動的にプロビジョニングできませんでした。	ESMEC-3592
Lenovo 保証の検索は、10.1 エージェントで追加情報を取得することで強化されています。一部のデバイスでは、Lenovo 保証を取得するためにこの機能が必要です。	ESMEC-3532
仮想 MAC デバイスでエージェント不要インベントリを実行すると、空のバッテリーレコードが追加されました。	ESMEC-3527
キューの所有者は、所有していないチケットに返信できませんでした。	ESMAS-4710
サービスデスクチケットで、リンク内のトークン \$ticket_url が機能しませんでした。	ESMAS-4709
サービスデスクの E メールで、件名に表示される \$ticket_number が正しくないことがありました。	ESMAS-4708
キュー設定 (リソースとして設定) でのチケットテンプレートのインポートおよびエクスポートは、サポートされていませんでした。	ESMAS-4631
資産 API に添付ファイルを追加できませんでした。	ESMAS-4618

既知の問題

このリリースの時点では、既知の問題はありません。

システム要件

KACE SMA 10.1 をインストールするために必要な最小バージョンは 10.0 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 9.0 です。KACE SMA 10.1 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

バージョン 10.1 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SMA の技術仕様で確認できます。

- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

製品ライセンス

現在KACE SMAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SMAを使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。追加のリソースに移動して、適切なガイドを確認します。

i 注: バージョン10.1の製品ライセンスは、バージョン6.3以降を実行するKACE SMAアプライアンスでのみ使用できます。バージョン10.1のライセンスは、KACE SMAの旧バージョン (6.0など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- 更新の準備
- アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート
- アップデートの手動によるアップロードと適用
- アップデート後のタスク

i 注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、KACE SMA 7.0リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

更新の準備

KACE SMAサーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- KACE SMA サーババージョンの確認 :
KACE SMA 10.1 をインストールするために必要な最小バージョンは 10.0 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。
アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。
- KACE SMA エージェントのバージョンの確認。
KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 9.0 です。KACE SMA 10.1 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。
- 開始前のバックアップ :
データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップをKACE SMAサーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』 (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
- ポート 52231 が使用可能であることの確認。
.kbin をアップグレードする前に、ポート 52231 を使用して、KACE アップグレードコンソール ページにアクセスできるようにする必要があります。このポートを使用可能にせずにアップグレードが開始された場合、アップグレードの進行状況を監視することはできません。Quest KACE では、信頼できるシステ

ムからポート 52231 を介した SMA へのトラフィックを許可し、アップグレードコンソールからアップグレードを監視することを強く推奨します。アップグレードコンソールにアクセスしない場合、アップグレードはタイムアウトしたとして、ブラウザに表示されるアクセスできないページにリダイレクトされます。これにより、ユーザーはアップグレードによりシステムがクラッシュしたと判断して、ボックスを再起動することになりますが、実際にはアップグレードはまだ進行中です。アップグレードの進行状況が不明な場合、KACE サポートに連絡してください。また、アプライアンスを再起動しないでください。

アドバタイズされたアップデートを使用した KACE SMA サーバのアップデート

管理者コンソールの ダッシュボード ページまたは アプライアンスの更新 ページで、アドバタイズされたアップデートを使用して KACE SMA サーバをアップデートできます。

! **注意:** アップデート中、KACE SMA サーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスの システム管理コンソール にログインします。 (http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。

確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。

i **重要:** 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン 10.1 が適用され、KACE SMA サーバが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

6. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 10.1 にアップグレードします。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Quest でアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、KACE SMA サーバを更新できます。

注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SMAサーバの.kbinファイル (10.1 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。
 - a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
 - b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。バージョン 10.1 が適用され、KACE SMA サーバが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。
5. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 10.1 にアップグレードします。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

KACE SMAのバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスの システム管理コンソール にログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソールにログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

注意: これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。
4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード (2FA) アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。
 - b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
 - c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
 - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/10.1/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。

サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

- セットアップガイド：仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/10.1/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
- 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/10.1-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

Quest は、急速に変化するエンタープライズ IT の世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。当社は、Fortune 500 企業の 95 % や Global 1000 企業の 90 % など、100 か国 130,000 社にサービスを提供するグローバルプロバイダです。1987 年以来、データベース管理、データ保護、ID およびアクセス管理、Microsoft プラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Quest を使用することで、組織は IT 管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新により多くの時間を費やすことができます。詳細に関しては、「www.quest.com」を参照してください。

テクニカルサポートのリソース

Quest の有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様、および試用版をお持ちのお客様は、テクニカルサポートをご利用いただけます。Quest サポート ポータルは、<https://support.quest.com> からアクセスできます。

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

© 2019 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept

4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Refer to our Web site (<https://www.quest.com>) for regional and international office information.

Trademarks

Quest, the Quest logo, Join the Innovation, and KACE are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. For a complete list of Quest marks, visit <https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx>. All other trademarks and registered trademarks are property of their respective owners.

凡例



注意: 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。



重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ: 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンスリリースノート

更新日 - 2019年11月

ソフトウェアバージョン - 10.1